膵臓がんワクチン、高リスク者の９割で免疫応答

膵臓がんは、特に発症リスクを大幅に高める遺伝子変異を受け継いだ人では、「サイレントキラー」となり得ますが、こうした高リスク者における膵管腺がん（PDAC）の予防に新たな希望が見えてきました。

このたび、PDAC やその前がん病変で高頻度に認められる KRAS 変異を持つ細胞を免疫系が認識して排除するよう誘導するワクチンが開発され、「Cancer Discovery」誌に掲載されました。

試験では、PDAC の遺伝的リスクが高い 20 人のうち 18 人でワクチンによる免疫応答が確認され、その免疫応答が長期間持続することが示されました。